

## 2025 年度 学修成果及び学修行動、環境に関する調査報告書

川崎医療福祉大学

FD・SD 委員会

本学の学生の学修前後の学修成果を把握し、本学の3つのポリシーを検証する材料とすることを目的として、2022 年度より毎年実施する記名式調査として「学修成果および学修行動、環境に関する調査」を開始した。

データの集計と基礎的分析については、FD・SD副委員長及び調査企画室で行った。

### 1. 実施方法

#### 1-1 実施対象と方法

2025 年度の在学している学部生（以下、在学生）は合計 3,415 名であった。

在学生にメールにて回答依頼を行い、WebClass を使用して、オンラインにて実施した。質問項目および簡易集計結果は巻末の資料 1 の通りである。

#### 1-2 実施日

提出期限：2025 年 7 月 14 日（月）～7 月 31 日（木）

### 2. 実施結果

#### 2-1 回収率

回答者数は 1,941 人で、回収率は 56.8%（2024 年度：38.6%）であった。学年別のデータは以下の通りであった。今年度は、昨年度と比較して大幅に回収率が上がった。

学年別回答者数：1 年次 592 人、2 年次 392 人、3 年次 504 人、4 年次 453 人

学年別回収率：1 年次 72.6%、2 年次 49.4%、3 年次 59.3%、4 年次 47.3%

#### 2-2 学生の主観評価によるアドミッション・ポリシーの検証（質問 1）

アドミッション・ポリシーについて、入学時においては、本学への入学選抜に臨むにあたっての人物像を、入学後については、本学での学びに対する基本姿勢として持つ必要があるものであり、いずれの設問においてレベル 4 もしくは 5 であることが望まれる項目である。実際の回答もレベル 4 と 5 での回答を占めているが、ごく少数の学生は低いレベルで回答している。アドミッション・ポリシーに関する設問に全てレベル 1 で回答した学生が昨年度は 3 名存在したが、今年度も 2 名存在した。学生のアドミッション・ポリシーへの理解と医療福祉人への意識付けを今以上に強化していく必要がある。

全てのアドミッション・ポリシーにおいて、レベル5の回答が一番多くなっていた。「⑤他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人」について、一昨年、昨年はレベルを4と回答した学生が最も多かったが、他者とのコミュニケーション、協業についての不安が若干改善されたことが示された。とはいえ、他の項目では、レベル5の割合が5割を超えているが、この項目だけは4割程度であった。引き続き、アクティブラーニング科目やチーム医療に関する科目、プレゼンテーションに関する科目など、コミュニケーション能力およびチーム医療に関する科目をより一層強化する必要性が示唆された。

学年別の傾向においては、全ての項目で1年生が最もレベル5の回答の割合が高かった。また、1年生においては比較的レベル3の回答が少ない傾向が見られた。加えて、2年生と3年生において、レベル5の割合が低い傾向が見られた。

### 2-3 学生の主観評価によるカリキュラム・ポリシーの検証（質問2、3、5）

質問2で自分の所属学科のカリキュラム（科目や科目の配置、科目の量）への満足度を確認したところ、満足が39.6%、やや満足が42.4%と合せて82.0%であり、昨年度と同様、概ね満足している状況が確認された。質問3のカリキュラムへの要望事項は、昨年度と同様、資格対策の充実と、ボランティア活動などの正課外活動への単位認定への要望が多く見受けられた。

質問5の科目の配置については、1週間当たり21～30時間（1日当たり概ね3～4コマ）の授業がある学生が35.1%と最も多くなっていた。これは令和4年度に文部科学省が実施した「全国学生調査」※において、2年生の最多回答であった「1週間当たり16～20時間（1日あたり概ね2～3コマ）」と比較すると、多くの科目が配置されていたが、同調査における学部分野別の回答における保健分野（看護・医療技術など）においては1週間当たり21～30時間（1日当たり概ね3～4コマ）が最多になっていたため、この分野においては標準的な科目配置であると考えられる。

### 2-4 学生の主観評価によるディプロマ・ポリシーの検証（質問4、6、7、8）

質問4で最も高かった項目が「4. 出された課題やレポートを、良いものに仕上げようと努力している」52.4%であった。次に、「7. 授業でわからなかったことは、自分で調べてみる」38.4%、「2. 興味がわくかどうかにかかわらず、集中して受講している」34.1%と続いており、与えられた学びについては一生懸命に取り組む様子が示唆された。ただし、「2. 興味がわくかどうかにかかわらず、集中して受講している」が昨年の41%から約7%減少しており、昨年までと比べて興味がわかない講義に対するモチベーションは下がっているようである。一方、「5. 予習をしたうえで毎回の授業に臨んでいる」が5.0%、「授業に関係する事柄を、授業時間外でも教員に質問する」8.4%、「授業で興味を持ったことについて、自主的に勉強する」19.6%などの低い割合で示され

るように、学生の学修姿勢が受け身になっている傾向が見受けられた。後述の質問 6 と同様、課題とすべきであろう。

質問 6 は授業以外での自己学修時間を問うた質問であるが、時間数としては最も少ない選択肢である 1 週間当たり 1～5 時間の学生が 33.1%と最多となった。「全国学生調査」※において、全体でも学部分野別でも同様に 1 週間当たり 1～5 時間の学生が最も多くを占めており、他大学においても同様の課題が存在するものと考えられる。

質問 7 では、68.3%の学生が毎週 16 時間以上の自身が自由に使える時間があり、今以上の自己学修時間の確保は可能と考えられる。単位制度の実質化を図る上でも学生の自己学修時間増加に向けて更なる大学内学修環境の整備や、予習・復習教材の指示、提供等の改善に向けた施策が必要である。

質問 8 では、ディプロマ・ポリシーに定められた養成人材像に対する現時点での自身の達成状況について 5 段階で自己評価させた。全てのディプロマ・ポリシーについて、レベル 4 と回答した学生が最も多い状況ではあるが、元来ディプロマ・ポリシーは卒業時に充足を目指すものであるため、仕方ない側面もある。学年別の傾向では、4 年生でレベル 5 が増えて、レベル 3 が減っており、望ましい傾向ではある。とはいえ、できれば 4 年生ではもう少しレベル 5 が増え、レベル 3 以下が減ることが望ましい。学修ポートフォリオシステムおよびディプロマ・サプリメントの活用を啓発し、成長実感を持たせるなど、学生の主体性向上に向けた取り組みが必要であろう。

## 2-5 学生からの環境整備への要望事項（質問 9、10、11）

質問 9 では、学生が自己学修する場所を確認した。自宅での自己学修を中心としながらも、大学図書館や各階ラウンジなどの大学内施設の利用が多く見受けられた。また、質問 10 および 11 の施設整備の要望では、静かに学修できるスペースの更なる拡充を望む声が多数となった。本学には、静かに学修できるスペースである 5FLSC（ラーニングサポートセンター）や 8F 資格対策演習室があり、席数にも余裕があるのだが、質問 9 で示されたように実際に使う学生が少ない。これらのスペースの案内を十分に行うことの重要性が示されたと同時に、利便性の高い場所での学修スペースの確保の必要性が示唆された。

また、施設整備の要望では、Wi-Fi 環境の充実、現在よりも遅い時間まで自習で利用することができるスペースの整備、コーヒーショップ等のカフェスペースの設置、学生ラウンジ等のフリースペースの拡充が昨年同様、根強い要望として挙げられている。

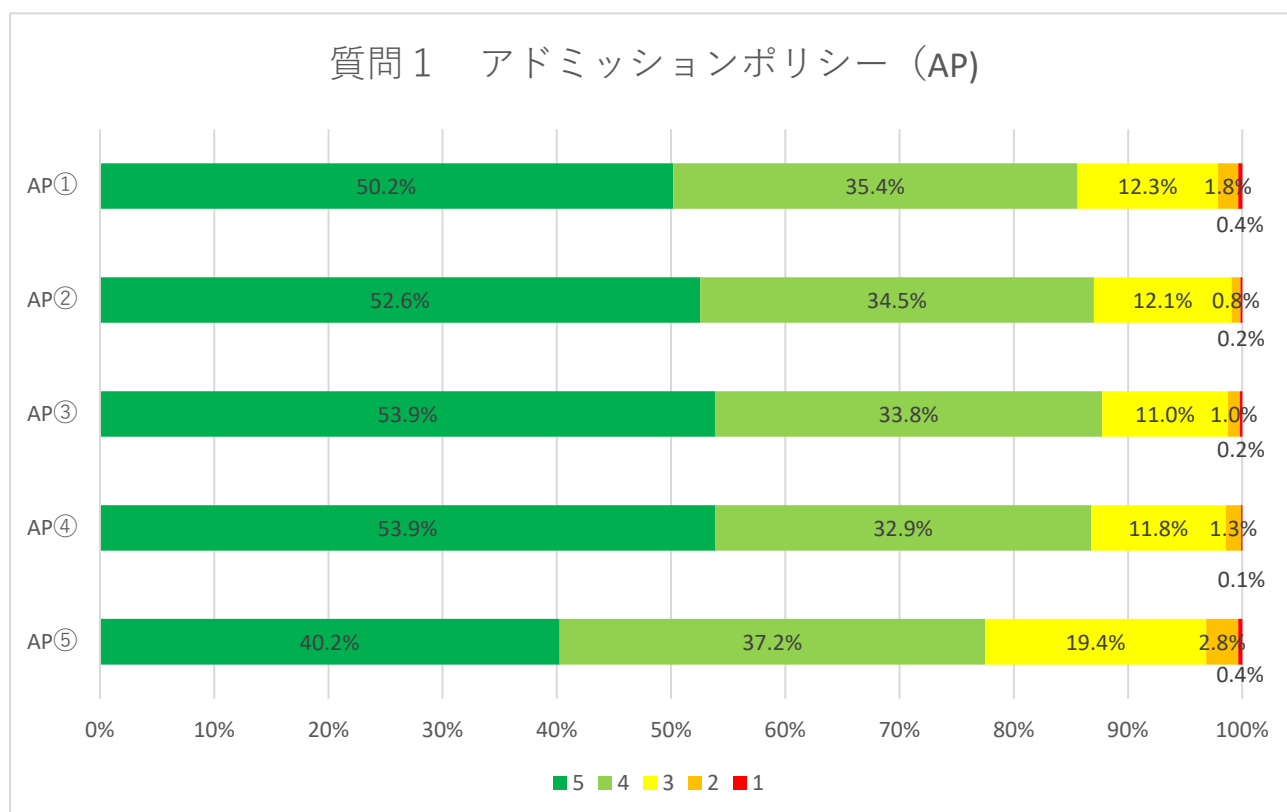
自由記述では空調に関する要望が多数見受けられ、多くの学生が不満を持っていることが分かる。4F ラウンジ・各階ラウンジや、個々の教室の室温調整が十分ではないなど、温度や稼働時間に関して改善を求める声が多く挙げられた。学生の不満が最も多い内容であることを認識しておかなくてはならない。近年の気温の上昇等も踏まえ、



質問 1. 川崎医療福祉大学では以下の学生を入学者として求めていると同時に、大学が養成しようとしている人材の基本姿勢として定めています（アドミッション・ポリシー）。あなたの現時点での学びへの姿勢について 5 段階で自己評価してください。

- ① 医療や福祉の分野で活躍するために、その知識と技術を修得する意欲のある人
- ② 病気や障がいのある人の気持ちを理解するとともに、その苦悩に共感できる人
- ③ 社会人としての良識や倫理観を身につけ、社会に貢献したいと願っている人
- ④ 他者の言葉に耳を傾け、適切に説明できるというコミュニケーション能力を持つために努力する人
- ⑤ 他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人

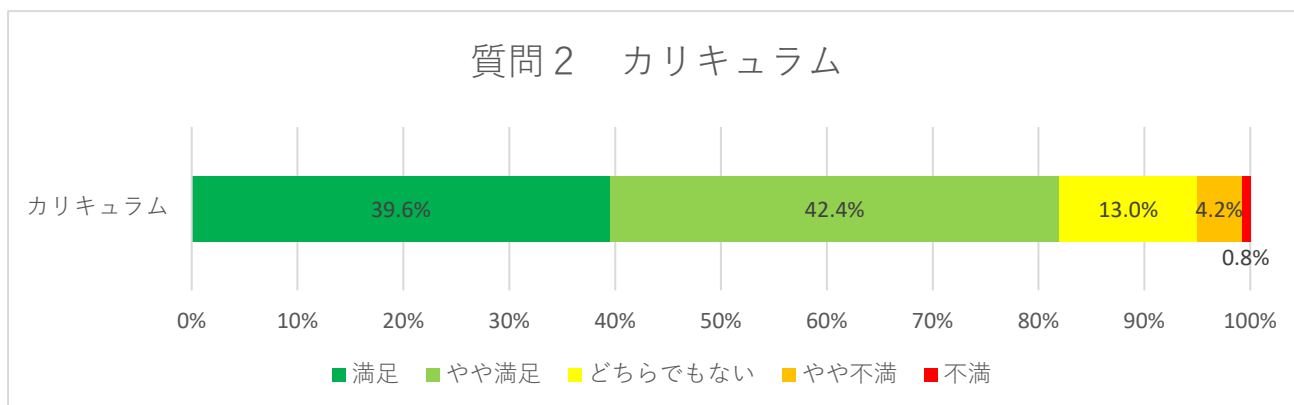
※レベル 5 が最もポジティブで、レベル 1 が最もネガティブな自己評価を示す



## 学年別の傾向（AP）

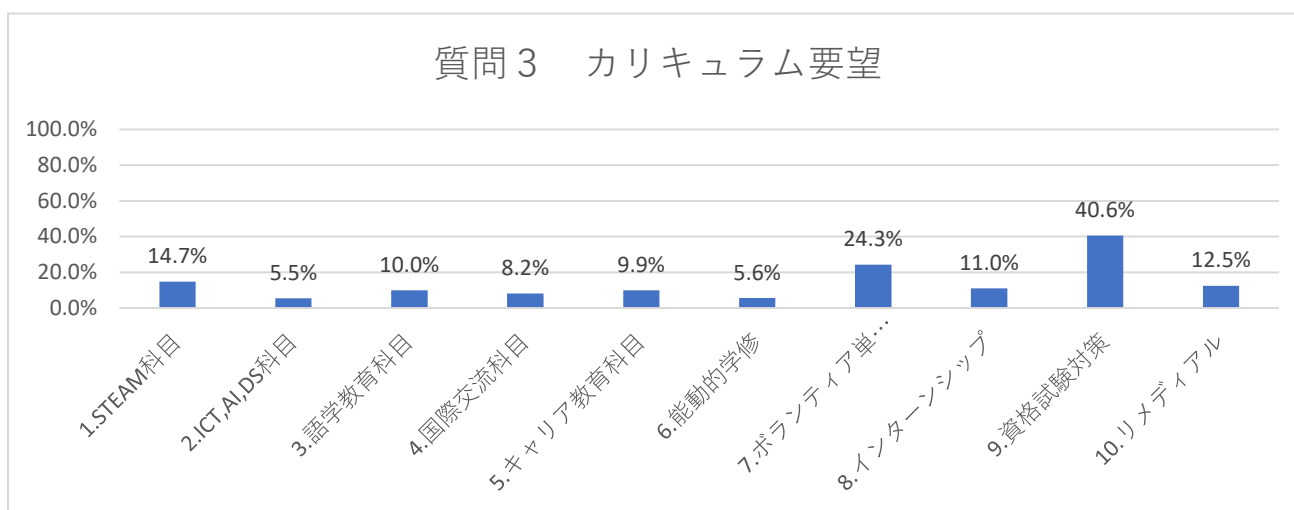
	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
<b>AP①総計</b>	<b>50.2%</b>	<b>35.4%</b>	<b>12.3%</b>	<b>1.8%</b>	<b>0.4%</b>
4	51.2%	33.8%	11.9%	2.0%	1.1%
3	43.3%	39.7%	14.5%	2.4%	0.2%
2	47.2%	36.0%	14.3%	2.6%	0.0%
1	57.3%	32.6%	9.5%	0.5%	0.2%
<b>AP②総計</b>	<b>52.6%</b>	<b>34.5%</b>	<b>12.1%</b>	<b>0.8%</b>	<b>0.2%</b>
4	51.4%	34.7%	13.2%	0.4%	0.2%
3	46.0%	39.1%	13.3%	1.4%	0.2%
2	51.5%	32.9%	14.8%	0.8%	0.0%
1	59.6%	31.4%	8.3%	0.5%	0.2%
<b>AP③総計</b>	<b>53.9%</b>	<b>33.8%</b>	<b>11.0%</b>	<b>1.0%</b>	<b>0.2%</b>
4	53.6%	33.8%	11.3%	1.1%	0.2%
3	49.4%	36.5%	12.5%	1.2%	0.4%
2	51.3%	34.2%	13.3%	1.3%	0.0%
1	59.6%	31.4%	8.1%	0.7%	0.2%
<b>AP④総計</b>	<b>53.9%</b>	<b>32.9%</b>	<b>11.8%</b>	<b>1.3%</b>	<b>0.1%</b>
4	54.7%	34.2%	9.7%	1.3%	0.0%
3	51.6%	33.7%	12.5%	2.0%	0.2%
2	49.0%	33.4%	16.1%	1.5%	0.0%
1	58.4%	30.7%	10.0%	0.7%	0.2%
<b>問1AP⑤</b>	<b>40.2%</b>	<b>37.2%</b>	<b>19.4%</b>	<b>2.8%</b>	<b>0.4%</b>
4	42.4%	37.3%	17.7%	2.4%	0.2%
3	38.9%	37.9%	19.2%	3.2%	0.8%
2	36.2%	38.0%	23.0%	2.8%	0.0%
1	42.4%	36.1%	18.4%	2.7%	0.3%

質問2. 自分の所属学科のカリキュラム（科目や科目の配置、科目の量）に満足していますか。



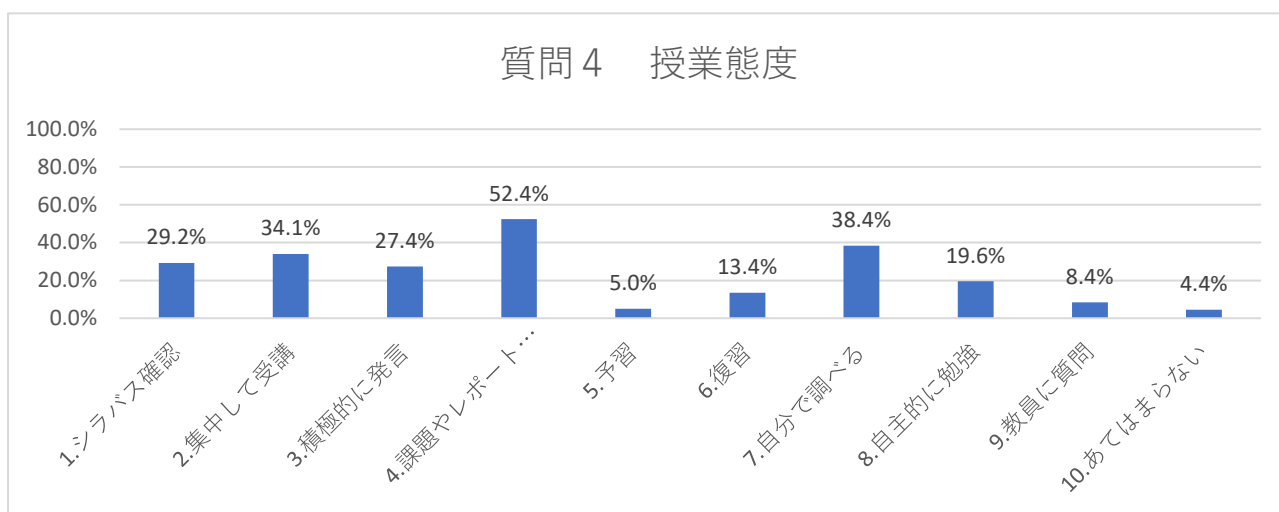
質問3. カリキュラムに対して要望はありますか。あてはまるものすべてを選択してください。

1. 基礎教育科目へのSTEAM科目（科学／技術／工学／芸術／数学）の充実
2. ICT・AI・数理・データサイエンス科目の充実
3. 基礎教育科目への語学教育科目の充実
4. 短期留学を含む国際交流科目の充実
5. キャリア教育科目の充実
6. 能動的学修授業（アクティブラーニング）の充実
7. 学外活動（ボランティア等）単位認定
8. インターンシップの単位認定、科目設定
9. 資格試験対策の充実
10. リメディアル教育（不足している基礎学力を補うために行われる教育）の充実



質問4. 授業に対して、どのような態度で取り組んでいますか。あてはまるものすべてを選択してください。

1. 受講の際に、前もってシラバスを確認している
2. 興味がわくかどうかにかかわらず、集中して受講している
3. グループワークやディスカッションなど自分の意見を述べる機会がある場合は、積極的に発言している
4. 出された課題やレポートを、良いものに仕上げようと努力している
5. 予習をしたうえで毎回の授業に臨んでいる
6. 授業が終わったらそのつど復習している
7. 授業でわからなかったことは、自分で調べてみる
8. 授業で興味をもったことについて、自主的に勉強する
9. 授業に関係する事柄を、授業時間外でも教員に質問する
10. 上記にあてはまるものはない



質問5. 授業の受講時間※は、1週間（7日間）でどれくらいですか。※単位化された全ての授業。講義、演習、実験、卒業研究、実習、学外実習等の正課授業。

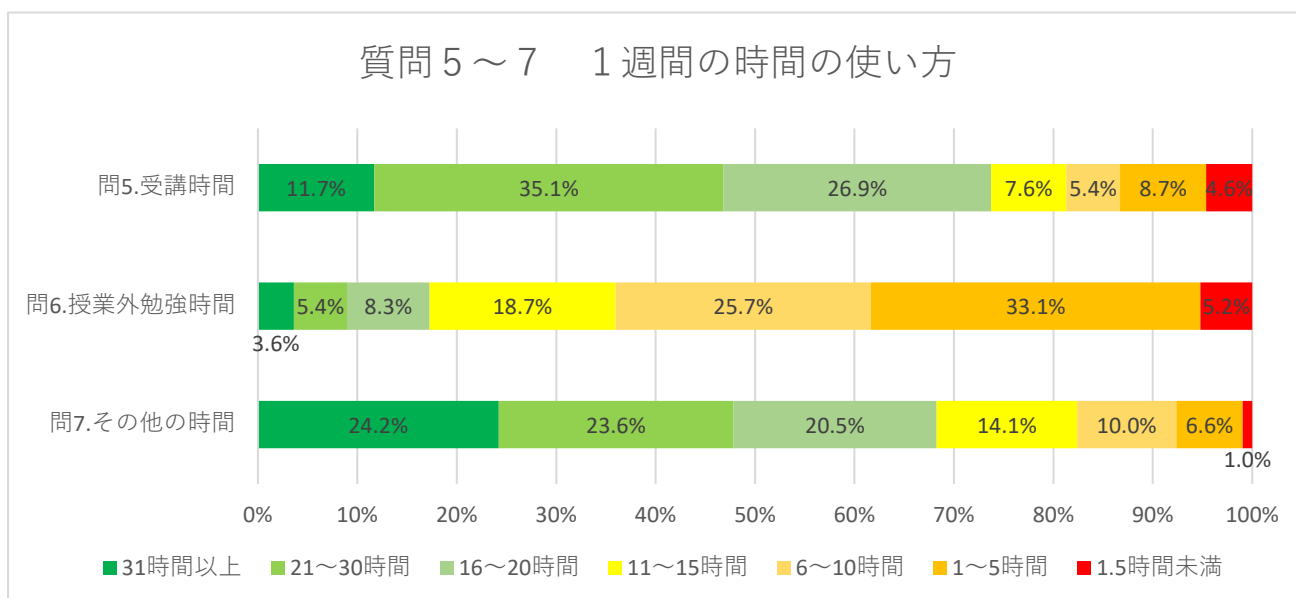
1. 31時間以上（月1時限～金3時限まで殆どの全てのコマで授業が有る）
2. 21～30時間（1日当たり概ね3～4コマの授業が有る）
3. 16～20時間（1日当たり概ね2～3コマの授業が有る）
4. 11～15時間（1日当たり概ね1～2コマの授業が有る）
5. 6～10時間（1日当たり概ね1コマの授業が有る）
6. 1～5時間（1週間のうち授業が無い日が3日以上有る）
7. 1.5時間未満（1週間のうち殆どの日が授業が無い）

質問6. 授業時間以外でのふだんの自己学修時間は、1週間（7日間）でどれくらいですか。（定期試験用の自己学修ではなく、ふだんの自己学修についてお答えください。）

1. 31時間以上（毎日概ね4.4時間以上を自己学修に充てている）
2. 21～30時間（毎日概ね3～4.3時間未満を自己学修に充てている）
3. 16～20時間（毎日概ね2.3～2.9時間未満を自己学修に充てている）
4. 11～15時間（毎日概ね1.6～2.2時間未満を自己学修に充てている）
5. 6～10時間（毎日概ね50分～1.5時間未満を自己学修に充てている）
6. 1～5時間（毎日概ね10分～45分未満を自己学修に充てている）
7. 0時間（全くしない）

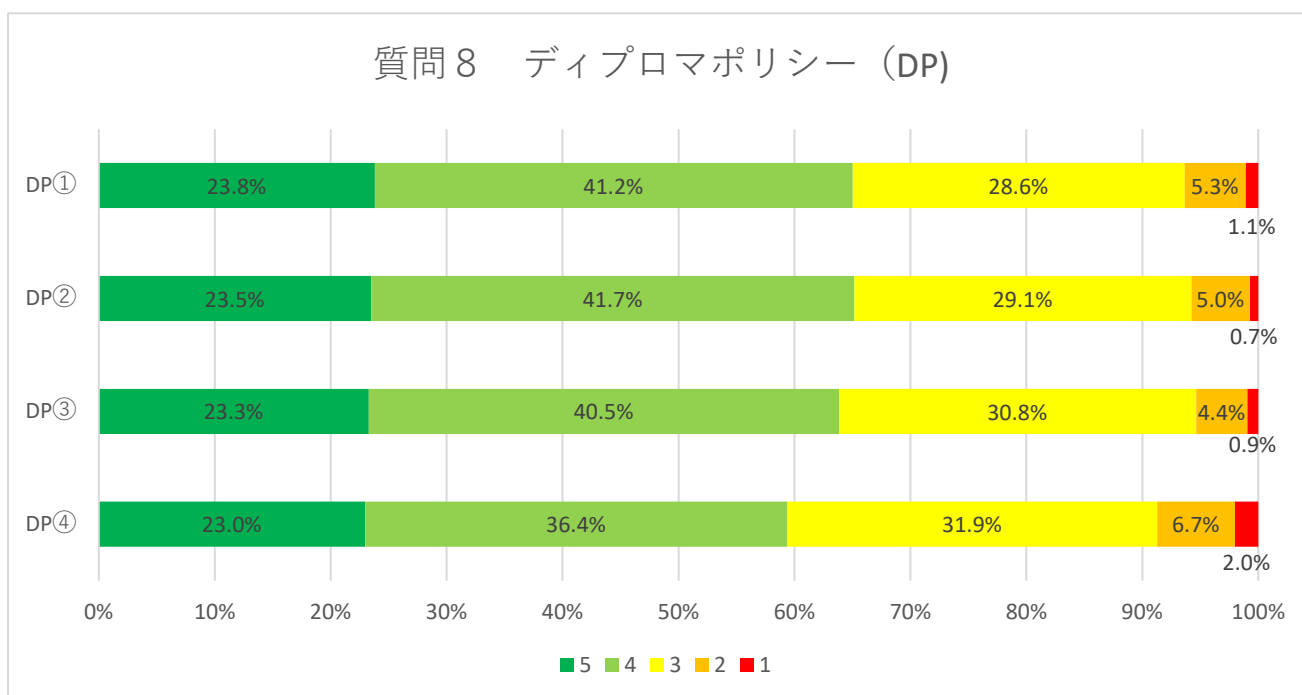
質問7. 睡眠時間以外で自分がアルバイト・部活・趣味・休養等に自由に使うことができる時間は、1週間（7日間）でどれくらいですか。

1. 31時間以上（毎日概ね4.4時間以上を自由に使うことができる）
2. 21～30時間（毎日概ね3～4.3時間未満を自由に使うことができる）
3. 16～20時間（毎日概ね2.3～2.9時間未満を自由に使うことができる）
4. 11～15時間（毎日概ね1.6～2.2時間未満を自由に使うことができる）
5. 6～10時間（毎日概ね50分～1.5時間未満を自由に使うことができる）
6. 1～5時間（毎日概ね10分～45分未満を自由に使うことができる）
7. 0時間（全く自由な時間が無い）



質問8. 大学が養成しようとする人材像（ディプロマ・ポリシー）は以下のとおりですが、現時点での自身の達成状況について5段階で自己評価してください。

- ① 幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。
- ② 豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。
- ③ 医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。
- ④ 4年間にわたる体系的な学修を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。

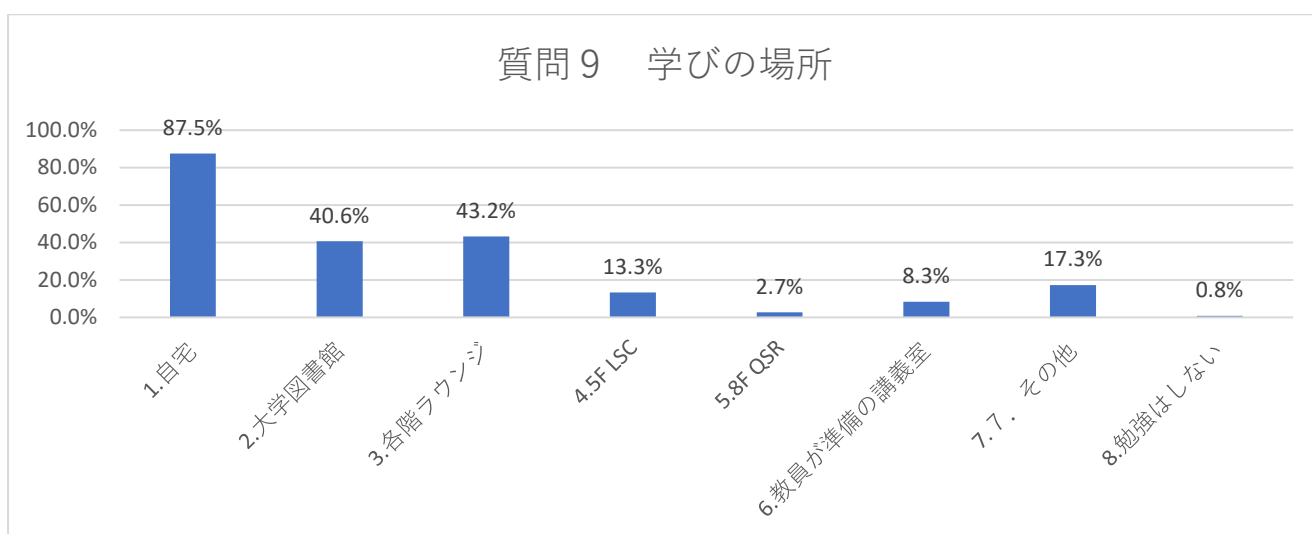


## 学年別の傾向 (DP)

	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
<b>DP①総計</b>	<b>23.8%</b>	<b>41.2%</b>	<b>28.6%</b>	<b>5.3%</b>	<b>1.1%</b>
4	31.3%	40.0%	24.7%	2.9%	1.1%
3	20.8%	44.6%	27.6%	5.4%	1.6%
2	21.4%	41.6%	31.6%	4.3%	1.0%
1	22.1%	39.0%	30.6%	7.6%	0.7%
<b>DP②総計</b>	<b>23.5%</b>	<b>41.7%</b>	<b>29.1%</b>	<b>5.0%</b>	<b>0.7%</b>
4	30.0%	42.2%	23.6%	3.8%	0.4%
3	22.4%	41.9%	30.2%	4.4%	1.2%
2	20.4%	43.4%	30.6%	4.6%	1.0%
1	21.5%	40.0%	31.3%	6.9%	0.3%
<b>DP③総計</b>	<b>23.3%</b>	<b>40.5%</b>	<b>30.8%</b>	<b>4.4%</b>	<b>0.9%</b>
4	30.0%	41.7%	24.7%	2.9%	0.7%
3	20.2%	43.7%	31.2%	3.4%	1.6%
2	21.9%	40.1%	32.1%	4.8%	1.0%
1	21.6%	37.3%	34.3%	6.3%	0.5%
<b>DP④総計</b>	<b>23.0%</b>	<b>36.4%</b>	<b>31.9%</b>	<b>6.7%</b>	<b>2.0%</b>
4	29.8%	37.1%	28.3%	4.0%	0.9%
3	20.0%	40.7%	32.5%	5.0%	1.8%
2	22.4%	35.5%	33.9%	6.9%	1.3%
1	20.6%	32.9%	32.8%	10.1%	3.5%

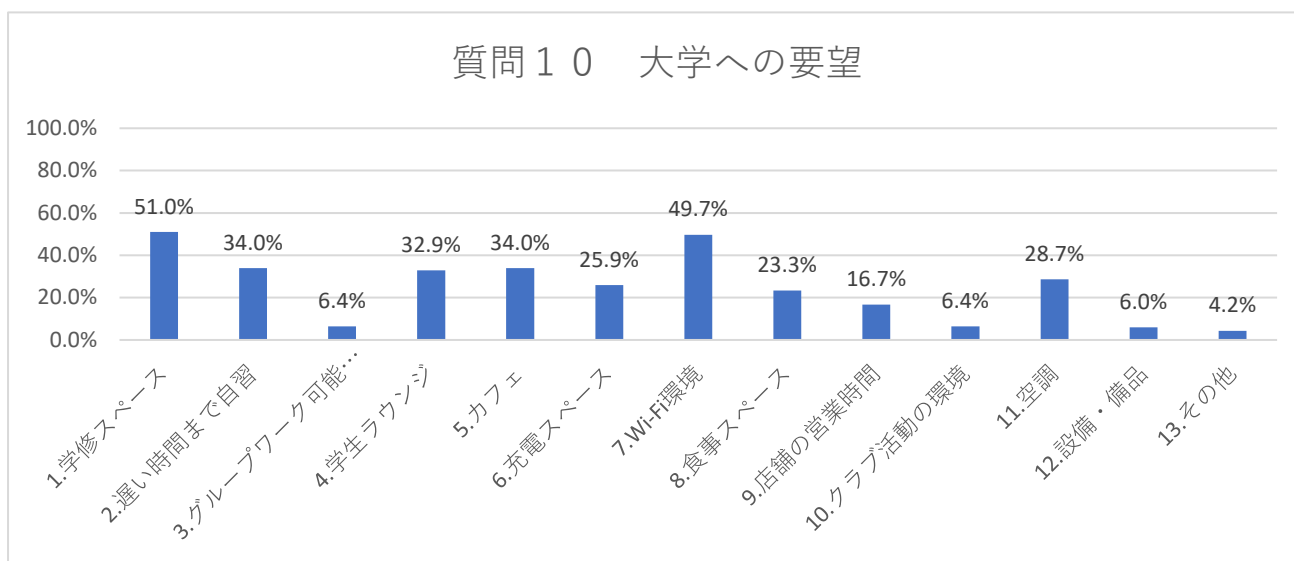
質問9. 授業時間以外での自己学修は、どこでしますか。該当する場所すべてを選択してください。

1. 自宅
2. 大学図書館
3. 各階ラウンジ
4. 5F LSC (ラーニングサポートセンター)
5. 8F 資格対策演習室 (8101~8103)
6. 学科教員が準備した自習用の講義室・実習室
7. その他 (友人宅・公共施設など)
8. 授業時間以外の勉強はしていない



質問10. 大学の学修環境もしくは学生生活環境整備への要望はありますか。あてはまるものすべてを選択してください。(2024年度環境整備実績：各階ラウンジに勉強スペースを増設)

1. 静かに学修できるスペースの更なる拡充
2. 現在よりも遅い時間まで自習で使用することができるスペースの整備
3. グループワークを可能とする設備（プロジェクター、ホワイトボード、移動可能机等）を備えた自習スペースの設置
4. 学生ラウンジ等のフリースペースの拡充
5. コーヒーショップ等のカフェスペースの設置
6. 電子機器の充電スペースの更なる拡充
7. Wi-Fi環境の充実（接続の簡易化、高速化等）
8. 食事スペースの拡充（食堂の増席、店舗の新設等）
9. 店舗の平日営業時間の延長
10. クラブ・サークル活動のための環境整備
11. 空調の改善
12. 設備・備品について
13. その他



質問11. 質問10に「13. その他」と回答された方はその詳細をお書きください。

自由記述については別途保管する。